

◎:新規事業、○レベルアップ事業
 単位:千円

政策 目標	重点 課題	頁	主 要 事 業	所 管 部	事業費
4. みんなで行動する環境の街					
低炭素社会の推進と循環型社会の構築					
		P50	脱原発依存社会推進関連 (LED推進キャンペーン事業・エネルギー転換調査)	環) 環境都市推進部	56,000
		P51	○ 札幌・エネルギーecoプロジェクト	環) 環境都市推進部	517,500
		P53	◎ 札幌版次世代住宅普及促進事業	都) 市街地整備部	26,500
		P54	○ エコリフォーム促進事業	都) 市街地整備部	100,000
多様で豊かな自然を守り、育てるまちづくり					
		P52	アジア・アフリカゾーン等整備事業 (遊具広場整備費を含む)	環) 円山動物園	789,600

目 的

脱原発依存社会を目指し、エネルギー消費削減を実施するとともに、再生可能エネルギーへの転換を推進するための調査

(単位: 千円)

	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
①	事業費	0	(保留) 20,000	48,000
	(うち一般財源)	(0)	(20,000)	(48,000)
②	事業費	5,000	(保留) 8,000	8,000
	(うち一般財源)	(5,000)	(8,000)	(8,000)
査定の考え方				① 特定財源なし ② 特定財源なし
【財政局概定】 ①②保留: 概定上計上するが、事業の方向性・規模については市長査定で判断 【最終査定】 ①対象を4,000世帯→10,000世帯に拡充(+24,000)、事務費を追加(+4,000) ②財政局概定の内容で事業費を計上				

① LED推進キャンペーン事業(新規)

[事業費48,000千円]


LED電球を4,000円以上購入し、交換後2か月分の消費電力量調査に協力いただいた家庭10,000世帯に、購入金額の半額相当(上限4,000円)のSAPICAカードを進呈

- ・ SAPICAカード補助 40,000千円
LED購入額の半額を補助
 1. 購入金額が4,000円以上、8,000円未満
→ 2,000円(デポジット500円 + 1,500円分のポイントのカードを1枚)
 2. 購入金額が8,000円以上
→ 4,000円(デポジット500円 + 1,500円分のポイントのカードを2枚)
- ・ 受付等事務費 8,000千円

② エネルギー転換調査

[事業費8,000千円]

札幌市のエネルギー施策の目指すべき姿の実現に向けた調査

	札幌市の取組	
23年度	エネルギー転換調査 (原子力発電に依存しない社会を目指して) ○省エネルギー社会の実現に向けた調査 ○代替エネルギーとしての再生可能エネルギーの調査 ・エネルギー需給における現状と今後の動向 ・再生可能エネルギー普及の課題整理、今後の可能性	市民意見募集 学識経験者との連携
 再生可能エネルギー転換への方向性、課題、施策の検討		
24年度	札幌市における最適な再生可能エネルギーの導入に向けた具体的な施策の検討 ○再生可能エネルギーの導入に向けた具体策の検討 ○国のエネルギー政策、固定価格買取制度を踏まえた施策検討 ○スマートグリッド、蓄電池等の最新技術の動向調査	
25年度	札幌市におけるエネルギー基本計画策定	

(単位: 千円)

目的

新エネルギーの導入、省エネルギー機器への転換促進を図り、地球温暖化対策を推進

事業内容

市民・中小企業者等に対する新エネ・省エネ機器の導入を支援

- | | |
|---------------------|-----------|
| ①市民向け補助 | 180,000千円 |
| ②町内会・NPO等団体向け補助(新設) | 15,000千円 |
| ③中小企業者等向け補助 | 30,000千円 |
| ④新エネ省エネ受付業務委託等 | 8,653千円 |
| ⑤預託金、利子補給金 | 283,847千円 |

(単位: 千円)

	H22	H23	H24
補助金総額	140,000	145,000	225,000
市民向け補助	115,000	120,000	180,000
町内会・NPO等団体向け補助(新設)			15,000
中小企業者等向け補助	25,000	25,000	30,000

	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
事業費	496,535	464,043	457,500	517,500
(うち一般財源)	(92,971)	(190,215)	(183,672)	(243,672)
査定の考え方	【財政局概定】 市民向け補助は23年度同額(▲5,000) 受付業務等について過去実績に基づき精査(▲1,543) 【最終査定】 H23年度の当選倍率を勘案して市民向け補助を増額(+60,000)			特定財源 諸収入 268,828 寄附金 5,000

ecoプロジェクト実績(各年度)

	H20	H21	H22	H23(12月末現在)
太陽光発電	77件(293kW)	203件(806kW)	321件(1,254kW)	414件(1,865kW)
高効率給湯暖房機	699台	452台	1,098台	1,158台
経済効果(工事出来高)	12億円	10億円	14億円	20億円
申込件数	690件	504件	1,929件	2,078件
当選件数(当選倍率)	先着順		1,162件(1.6倍)	1,372件(1.5倍)



(単位: 千円)

目的

動物たちの生息環境を再現し、行動をより効果的に見せる工夫をしたアジア・アフリカゾーン等の整備による、動物園の魅力のさらなる向上を図る

事業内容

- ・アジアゾーン建設費 703,300千円
- ・アフリカゾーン建設設計費 14,300千円
- ・遊具広場整備 72,000千円

スケジュール

- ・アジアゾーン 建設 H23～24年度
H25年1月オープン予定
- ・アフリカゾーン 設計 H24～25年度
建設 H25～26年度
H27年6月オープン予定
- ・遊具広場 整備 H24年度

	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
事業費	580,500	979,018	789,600	789,600
(うち一般財源)	(8,500)	(256,018)	(268,600)	(268,600)
概定の考え方	【財政局概定】 過去実績や類似事例の実績に基づく工事費の精査等 (▲189,418) 【最終査定】 財政局概定のとおり			特定財源 市債 521,000

施設諸元

- ・アジアゾーン RC 1階建 1,876㎡ 13種約40個体
- ・アフリカゾーン RC 2階建 2,000㎡ 15種約40個体
- ・遊具広場 屋外2,080㎡ 6ゾーン (遊具5種類)

遊具広場イメージ



札幌版次世代住宅普及促進事業【新規】

都) 市街地整備部

(単位:千円)

目的

積雪寒冷地であるため、全国に比べて暖房エネルギー消費が高い家庭からのCO₂排出を抑制

事業内容

	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
事業費	0	32,235	26,500	26,500
(うち一般財源)	(0)	(19,235)	(13,350)	(13,350)
査定の考え方	【財政局概定】 認定審査委託料の事務費について類似事例に基づき精査 (▲5,735) 【最終査定】 財政局概定のとおり			特定財源 国庫支出金 13,150

札幌市独自の高断熱化基準「札幌版次世代住宅基準」に適合する新築住宅を認定し、建設費用の一部を補助

- ・住宅建設費補助 25,000千円
(ベーシックレベル新築住宅50戸相当分の補助枠)
- ・認定審査委託料等 1,500千円

◆ 年度別推移(※H25以降は新まち計画値を基とした予定)

ラ ン ク	補助額 (千円)	H 2 4		H 2 5		H 2 6		合計
		件数	補助額 (千円)	件数	補助額 (千円)	件数	補助額 (千円)	
トップランナー	2,000							
ハイ	500	50	25,000	104	52,000	170	85,000	162,000
スタンダード								
ベーシック								
年度計		50	25,000	104	52,000	170	85,000	162,000

※件数はベーシック補助額で積算

【参考：各レベルの指標】

- ・トップランナー (Q値: 0.5以下)
一般的な暖房が不要なレベル
- ・ハイ (Q値: 0.7以下)
スタンダードより2～3割程度熱損失係数が向上したレベル
- ・スタンダード (Q値: 1.0以下)
ベーシックより2割程度熱損失係数が向上したレベル
- ・ベーシック (Q値: 1.3以下)
国基準省エネ住宅より熱損失係数が2割程度向上したレベル

エコリフォーム促進事業

都) 市街地整備部

(単位:千円)

目的

環境負荷低減等を目的とした住宅改修を通じて、快適な住環境の創出及び地域経済の活性化

事業内容

札幌市が定める一定の条件を満たす、住宅の省エネ改修やバリアフリー改修を行う市民に対し補助事業を実施

※一定条件を満たす市内業者による施工が条件

- ・住宅エコリフォーム補助 100,000千円

補助金額

市が定める基準工事費の10%

- ・戸当り50万円が限度(千円未満切捨て)
- ・賃貸住宅は一所有者100万円が限度

	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
事業費	15,200	50,000	50,000	100,000
(うち一般財源)	(8,450)	(25,000)	(25,000)	(50,000)
査定の考え方	【財政局概定】 要求のとおり 【最終査定】 省エネ及び地域経済活性化等の効果を勘案して増額(+50,000)			特定財源 国庫支出金 50,000

補助申請額の状況

	受付期間	予算規模 (千円)	補助申請状況		工事費総額 (千円)
			件数	申請額(千円)	
22年度	7月1日～ 10月29日	15,000	43	9,552	240,487
23年度	当初募集 5月9日～ 5月20日	15,000	73	15,257	318,840
	追加募集 8月29日	10,000	74	14,936	274,199
合計		25,000	147	30,193	593,039
累計		40,000	190	39,745	833,526

※平成23年度は、10月31日時点。

政策 目標	重点 課題	頁	主 要 事 業	所 管 部	事業費
5. 市民が創る自治と文化の街					
市民の主体的な地域づくりと多文化共生を推進するまちづくり					
	P56		地域活動を豊かにする拠点の整備① (まちづくりセンター・地区会館改築、地区会館リフレッシュ整備)	市) 地域振興部	264,800
	P57	○	地域活動を豊かにする拠点の整備② (市民集会施設建築費補助事業、まちづくりセンター自主運営化)	市) 地域振興部	87,970
	P58		多様なまちづくり活動の充実支援 (地域のまちづくり関連事業、企業による市民活動促進事業)	市) 地域振興部	423,000
多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり					
	P59	◎	演劇公演・創造活動支援事業	観) 文化部	13,700
	P60		仮称)古代の里整備事業	観) 文化部	217,100
	P61		カーリング関連事業 (カーリング場建設、カーリング普及事業)	観) スポーツ部	359,100

地域活動を豊かにする拠点の整備①

市) 地域振興部

(単位:千円)

目的

地域のまちづくり活動の拠点である地区会館の整備推進による活動のさらなる活性化

① まちづくりセンター・地区会館改築事業

[事業費253,200千円]

老朽化したまちづくりセンター・地区会館の全面改築を促進

- ・改築工事費等 (白石) 165,900千円
- ・改築設計費等 (その他) 87,300千円



中の島まちづくりセンターの例

○24年度工事
白石まちづくりセンター・地区会館
木造 2階建て 400㎡

○24年度設計等、25年度工事
厚別中央まちづくりセンター・地区会館
西町まちづくりセンター・地区会館
苗穂東まちづくりセンター・地区会館

※サロン等加算の新設 (50㎡)
24年度以降設計の施設は、地域活動をさらに活性化するため、地域の要望により、談話・子育て支援・土足利用可能な待合等一定の基準を満たす場所を整備する場合、50㎡を上限に面積を拡大

	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
① 事業費	150,400	282,029	253,200	253,200
(うち一般財源)	(133,900)	(265,529)	(236,700)	(236,700)
② 事業費	0	21,603	11,600	11,600
(うち一般財源)	(0)	(21,603)	(11,600)	(11,600)
査定の考え方	【財政局概定】 ①工事費について過去実績等に基づき精査 (▲15,779) 対象施設の確定による設計費の精査等 (▲13,050) ②備品購入を改修工事後に行うこととして先送り (▲10,003) 【最終査定】 財政局概定のとおりに			①特定財源 寄付金 16,500 ②特定財源 なし

② 地区会館リフレッシュ整備 (新規)

[事業費11,600千円]

地域活動の活性化を目的とした地区会館の改修を実施

- ・リフレッシュ改修工事設計費 11,600千円 (対象5館)



中の島まちづくりセンターのキッチンの例

○想定工事費 30,000千円
想定内容 (地元との調整にて詳細を決定)
地域活動の活性化に資する増改築や、バリアフリー対応等

○工事対象
建築部の施設延命化工事に合わせて実施
・北まちづくりセンター
・元町まちづくりセンター
・北東白石まちづくりセンター
・澄川まちづくりセンター
・芸術の森まちづくりセンター

地域活動を豊かにする拠点の整備②

市) 地域振興部

目的

地域が所有する市民集会施設をまちづくり活動の拠点として活用できるよう高機能化を支援するとともに、まちづくりセンターの自主運営化を推進

① 市民集会施設建築費補助

[事業費65,000千円]

市民集会施設の建築にかかる住民組織への補助について、建築手法によって異なる補助率及び限度額を一律化

建築手法	現 状		変更後	
	補助率	限度額	補助率	限度額
新築、改築、増築	1/2	18,000千円	1/2	18,000千円
改修等の上記以外	1/3	12,000千円		

・補助金（新築3件、改築等14件） 65,000千円

(単位:千円)

	H23予算	H24予算			
		要求額	財政局概定額	最終査定額	
①	事業費	31,570	75,000	65,000	65,000
	(うち一般財源)	(31,570)	(75,000)	(65,000)	(65,000)
②	事業費	0	22,970	10,470	22,970
	(うち一般財源)	(0)	(22,970)	(10,470)	(22,970)
査定の考え方	【財政局概定】 ①補助対象の確定による精査(▲10,000) ②運営体制強化は規模や内容について整理が必要なため先送り(▲12,500) 【最終査定】 ①財政局概定のとおり ②自主運営の一層の活性化に向けて、運営体制の強化分を追加(+12,500)			①特定財源なし ②特定財源なし	

② まちづくりセンター自主運営化推進

[事業費22,970千円]

地域による創意工夫を生かしたまちづくりセンターの運営のため、地域による自主運営を拡大するとともに、既存の自主運営化まちづくりセンターの運営体制を強化

- ・新規委託（3件分） 10,470千円
- ・運営体制強化 12,500千円

○自主運営化済のまちづくりセンター
 20年度移行:元町、澄川、石山
 21年度移行:真駒内、芸術の森、麻生
 22年度移行:月寒、藻岩下
 23年度移行:3か所を想定
 24年度移行:3か所を想定

多様なまちづくり活動の充実支援

市) 地域振興部

(単位:千円)

目的

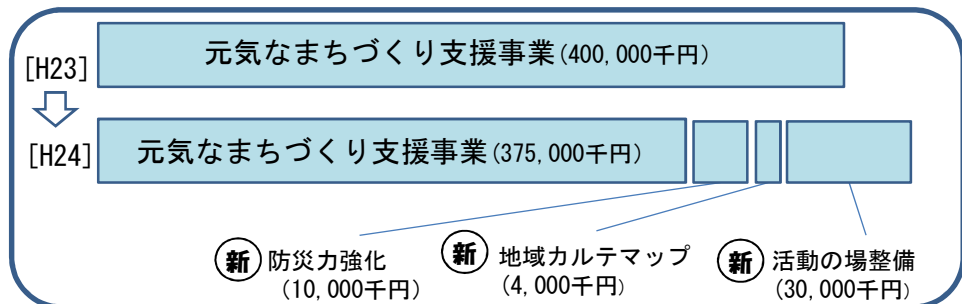
地域の課題解決の支援や、企業の社会貢献活動を促進するなど、さまざまな団体が行うまちづくり活動の充実を支援

① 地域のまちづくり関連事業

[事業費419,000千円]

地域のまちづくり活動への参加促進等、これまで区が中心に担ってきた事業の一部を全市的観点から実施する事業へ組換え

- ・元気なまちづくり支援事業 375,000千円
- ・地域による防災力強化支援事業 10,000千円
- ・地域カルテ・マップ活用推進事業 4,000千円
- ・地域活動の場整備支援事業 30,000千円



	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
①	事業費	400,000	390,700	419,000
	(うち一般財源)	(400,000)	(390,700)	(419,000)
②	事業費	0	4,000	4,000
	(うち一般財源)	(0)	(4,000)	(4,000)
査定の考え方		【財政局概定】 ①地域活動の場整備支援の補助を前倒し(+28,300) ②要求のとおり 【最終査定】 財政局概定のとおり		①特定財源なし ②特定財源なし

② 企業による市民活動促進事業 (新規)

[事業費4,000千円]

企業の社会貢献活動(CSR)について情報発信や場の提供などの支援とともに、地域安全サポーターズ企業の啓発や、さっぽろまちづくりパートナー企業の取組等の紹介により新たな締結先を開拓

- ・CSR促進事業委託 2,400千円
- ・地域安全サポーターズ企業啓発等 600千円
- ・さっぽろまちづくりパートナー企業PR事業委託 1,000千円

まちづくりパートナー企業	主な取組
①サッポロビール②北海道コココーラ③イオン北海道④日本ハム北海道販売・ファイターズ⑤ローソン⑥札幌青年会議所⑦セイコーマート⑧コープさっぽろ	①地ビール開発②白旗山森づくり③避難者支援活動④食育活動⑤ヘルシー弁当開発⑥青年によるまちづくり検討会⑦SAPICA普及啓発⑧高齢者見守り

演劇公演・創造活動支援事業【新規】

観) 文化部

(単位:千円)

目的

広く市民に対し優れた演劇の鑑賞機会を提供するため、一定の評価を得た演劇作品の公演を支援し、裾野を拡大するとともに、活動場所の確保を支援することで劇団の活力を維持

	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
事業費	0	14,000	13,700	13,700
(うち一般財源)	(0)	(14,000)	(13,700)	(13,700)
査定の考え方	【財政局概定】 公演事業補助について、補助単価の精査(2,575→2,500/作品) (▲300) 【最終査定】 財政局概定のとおりに			特定財源 なし

事業内容

①演劇公演事業に対する補助(演劇関係者、支援企業等からなる実行委員会方式)

- ・会場費、広報費等に対する補助 10,000千円
- 2,500千円(公演実施経費の1/2程度) × 4作品

②優れた演劇作品の創造に取り組む劇団の稽古場賃借料を補助

- ・稽古場賃借経費 3,600千円
- 600千円 × 6団体
※劇団ごとに補助期間をサンセット(5年限度)
- ・事務費 100千円

■ 公演に係る経費(1作品あたり)
 例) 教育文化会館小ホール(360席)の場合のイメージ
 4日間・6公演を実施する場合の経費 約500万円
 会場費 約200万円
 会場費以外 約300万円
 宣伝費、大道具・小道具、衣装、搬送費など

仮称) 古代の里整備事業

観) 文化部

(単位:千円)

目的

サッポロさとらんど内に保存されている縄文時代の遺跡を活用して、古代の食と文化を体験できる遺跡公園を整備

	H23予算	H24予算		
		要求額	財政局概定額	最終査定額
事業費	10,000	410,600	217,100	217,100
(うち一般財源)	(10,000)	(410,600)	(217,100)	(217,100)
査定の考え方	【財政局概定】 代替圃場整備について過去実績等に基づき精査(▲193,500) 【最終査定】 財政局概定のとおり			

事業内容

検討委員会の設置・運営等、遺跡範囲測量調査、代替圃場整備を実施

- ・ 検討委員会の設置、運営等 3,600千円
- ・ 遺跡範囲測量調査 21,000千円
- ・ 代替圃場整備 192,500千円

スケジュール

- H24: 計画検討・代替圃場整備
- H25: 基本構想策定
- H26: 基本計画策定
- H27: 基本・実施設計
- H28～29: 施設建築等



(単位:千円)

目的

通年型カーリング場をオープンし、市民に新しいウィンタースポーツを気軽に楽しむ機会を提供するとともに、国際大会の誘致等集客交流にもつなげていく

	H23予算	H24予算			
		要求額	財政局概定額	最終査定額	
①	事業費	1,464,000	343,625	329,200	329,200
	(うち一般財源)	(548,000)	(189,625)	(97,200)	(97,200)
②	事業費	0	45,391	29,900	29,900
	(うち一般財源)	(0)	(45,391)	(19,900)	(19,900)
査定の考え方		【財政局概定】 ①初度調弁(備品)等について、他施設の実績等に基づき精査(▲14,425) ②体験型普及事業について事業手法の見直し等による減(▲15,491) 【最終査定】 財政局概定のとおりに ①特定財源 道支出金 10,000 市債 222,000 ②特定財源 諸収入 10,000			

① カーリング場建設

カーリング場建設のための各種工事とカーリングストーン等の初度調弁

- ・ 工事費等 294,700千円
- ・ 初度調弁 34,500千円

② カーリング普及事業(新規)

オープニング大会や国内主要大会の開催支援、市民や観光客に向けた体験型普及事業の実施

- ・ 体験型普及事業 24,400千円
- ・ オープニング大会開催支援 3,500千円
- ・ PR事業等 2,000千円

【札幌市カーリング場概要】

所在地：豊平区月寒東1条9丁目
敷地面積：5,218.68㎡
構造：鉄筋コンクリート造地上2階建
建築面積：2,539.97㎡
延床面積：3,375.12㎡
開館時間：午前10時～午後9時

施設内容(主要諸室)

カーリングシート(5シート)
多目的室(3室)小多目的室(2室)
観覧席(224席)多目的ホール(1室)
カフェ(1室)等
駐車場(51台うち1台車いす)

<体験型普及事業>

- 技術指導員4人(プロパー3+非常勤1)を配置
- ・ 希望者への指導(常時)
 - ・ 市民向け体験会、教室、観光客向け体験ツアーの受入(内容の企画・運営)
 - ・ 指導プログラムの企画・開発等

6. 企業会計予算の概要

予算額 2,496億円 (前年度比0.2%減)

病院事業会計

予算額 274億円
(前年度比2.3%減)

安全で質の高い医療の提供

安全で質の高い医療を提供するため、民間では対応困難な精神科救急や身体合併症を持った精神科患者の診療を行う（仮称）市立札幌病院精神医療センターを開設するとともに、高度医療機器の更新・整備を行います。

健全経営に向けた取組

多様化する医療ニーズに対応しつつ、安定的かつ継続的に医療サービスを提供するため、地域の医療機関との連携を一層推進するなど、より効率的で健全な病院経営を目指します。

収益的収入	221億円
収益的支出	220億円
差引	1億円
未処理欠損金	176億円

中央卸売市場事業会計

予算額 37億円
(前年度比0.5%増)

安全で安心な生鮮食料品の供給

安全で安心な生鮮食料品の安定供給を堅持していくとともに、環境にやさしい市場をめざして、市場内の廃棄物の再利用・再資源化を行う施設の供用を開始します。

災害に強い市場に向けた取組

地震などの災害時にも生鮮食料品の供給を維持できるよう、道内外の卸売市場と相互に応援を行うための連携を強化します。

収益的収入	20億円
収益的支出	23億円
差引 ▲	3億円
未処理欠損金	61億円

軌道事業会計

予算額 25億円
(前年度比28.3%増)

安全運行の確保

安全運行の確保のため、劣化した軌道の改良工事や、老朽化した車両機器の更新、低床車両の購入などを行います。

乗客サービス

平成25年度に開始する予定のS A P I C A対応や軌道のループ化に伴う実施設計を進めます。

利用促進の取組

観光やイベントと連携した魅力ある乗車券の発売、貸切電車とペイント電車のPRなど、利用促進策や増収策をさらに推進します。

収益的収入	13億円
収益的支出	15億円
差引 ▲	2億円
未処理欠損金	4億円

高速電車事業会計

予算額 790億円
(前年度比0.6%減)

駅施設などの安全対策

乗客の安全を確保するため、南北線ホーム柵設置（H21～H24）、ホーム階の防火戸設置等を、順次進めます。

乗客サービス

便利で快適な時間を提供するため、SAPICAのバス・路面電車共通利用対応（平成25年度実施予定）や全駅へのトイレトーパー設置を進めていきます。

駅の個性化や利用促進の取組

駅施設の遊休スペースを活用した駅の個性化や、プロスポーツ団体等との連携による利用促進策を推進し、サービスアップや増収につなげていきます。

収益的収入	461億円
収益的支出	414億円
差引	47億円
未処理欠損金	3,230億円

水道事業会計

予算額 628億円
(前年度比2.2%増)

安全で安定した水道水の供給

安全で安定した水道水をお届けするため、配水管の整備などを行います。

また、災害対策として、水道施設の耐震化や災害時重要施設（医療機関）へ向かう配水管の耐震化を計画的に進めます。

健全経営に向けた取組

事業の重点化や業務の民間委託化を推進するなど、引き続き、より一層のコスト削減に努めます。

また、企業債残高の縮減を行いながら、将来の施設更新を見据えた財政基盤の強化を図ります。

収益的収入	426億円
収益的支出	384億円
差引	42億円
未処理欠損金	なし

下水道事業会計

予算額 742億円
(前年度比1.5%減)

暮らしの安全と安心の確保

水害や地震といった災害に備え、雨水拡充管の整備などの浸水対策や、下水道施設の耐震化を進めます。

うるおいとやすらぎある街の実現

水環境を保全するため、豊平川雨水貯留管の整備を進めるなど、合流式下水道の改善に努めます。

安定した経営のための基盤強化

厳しい財政状況の中で安定した経営を継続していくため、効果的な事業の選択、財源の充実、効率的な事業運営により、経営基盤を強化する取組を推進します。

収益的収入	412億円
収益的支出	414億円
差引	▲ 2億円
未処理欠損金	284億円

7.特別会計予算の概要

予算額 3,410億円 (前年度比5.3%増)

土地区画整理会計

予算額30億円

- 東雁来第2地区の移転補償費が増加すること等により、前年度比1.6%の増となります。

駐車場会計

予算額3億円

- 札幌駅北口地下駐車場管理費の増により、前年度比2.8%の増となります。

母子寡婦福祉資金貸付会計

予算額2億円

- 寡婦福祉資金の貸付額の増により、前年度比1.0%の増となります。

国民健康保険会計

予算額2,041億円

- 被保険者数の増加に伴う療養給付費の増等により、前年度比4.8%の増となります。
- 一般会計から、一世帯あたり保険料を軽減するための繰入金85億円を含めて、総額230億円の繰入を受けます。

後期高齢者医療会計

予算額223億円

- 北海道後期高齢者医療広域連合負担金の増等により、前年度比13.3%の増となります。
- 一般会計から、保険料を軽減するための繰入金35億円を含めて総額47億円の繰入を受けます。

介護保険会計

予算額1,092億円

- 居宅や施設の介護保険サービス利用者の増加に伴う保険給付費の増等により、前年度比4.9%の増となります。
- 一般会計から、保険給付に係る費用の市町村負担分(12.5%)など、総額165億円の繰入を受けます。

基金会計

予算額18億円

- 基金の預金等利子の増などにより、前年度比14.1%の増となります。